

# シンポジウム「理数系教育におけるアクティブ・ラーニング」

理数系学会教育問題連絡会

(共同主催学会：五十音順)

情報処理学会・日本化学会・日本植物学会

日本生物教育学会・日本地球惑星科学連合

開催日時 2015.11.8 (日) 13:00~17:00 (予定)

開催場所 筑波大学文京校舎(文京区大塚) 134 講義室

東京メトロ丸の内線茗荷谷(池袋 5 分/東京 15 分)徒歩 3 分

参加費用 無料(資料代：500円)

参加申込 不要

## 趣旨説明

現在、これからのわが国の初等中等教育を大きく変革する、次期学習指導要領に向けての検討が進んでいます。とりわけ大きな変化として、従来の学習指導要領が「どのような内容を学ぶか」に注力していたのと対照的に、次の指導要領では「どのようにして学ぶか」についても大幅に言及される方向にあることです。

その中でもとりわけ注目が集まっているのが、アクティブ・ラーニングです。これは、児童・生徒が課題に対して自分で考え、自力で必要な情報を集め、試行錯誤を繰り返しながら、解答を求めるといったものです。これは確かに、これからの不確実な時代に必要な、自ら考える力を養うという点で有効な学習方法だと考えます。

しかし注意すべきなのは、基礎的な知識や考え方の土台が何もない状態では、アクティブ・ラーニングは有効に機能しないということです。そして、どのような土台が必要か、その土台はどうやって構築するのか、そしてその上でどのようにアクティブ・ラーニングを進めて行くのがよいかは、学問分野ごとに違って来ます。

私たち理数系学会教育問題連絡会は、理数系の学会間で教育に関する情報を交換し、各学会の教育活動につなげるとともに、必要な場合には社会提言を公開してきました。今回は、上記のようなアクティブ・ラーニングの諸課題に対する答えを、理数系全体として探究することをめざして、シンポジウムを企画しました。この問題に関心を持つ関係各位に参加頂き、これからのわが国の理数系教育の再構築に向けて、共通認識の醸成に資することができれば幸いです。

シンポジウム委員長 久野 靖 (情報処理学会、筑波大学)

事務局長 畠山 正恒 (地球惑星科学連合、聖光学院)

## プログラム

(「統計」：日本統計学会 「生物」日本生物教育学会 「情報」：日本情報処理学会)

13:00~	開会あいさつ 畠山 正恒 (地球惑星科学連合、聖光学院)
13:15~	参加各学会から:年間の報告
14:00~	休憩
14:15~	基調講演 なぜ、アクティブ・ラーニングが大事か? 清水雅己 (埼玉県立川越工業高校、中教審教育課程特別部会)
14:45~	パネルディスカッション 司会: 根本泰雄 (桜美林大学)
	話者 1 統計 前川恒久 (QC サークル関東支部京浜地区顧問)
	話者 2 生物 大野智久 (都立国立高等学校)
	話者 3 情報 須藤祥代 (千代田区立九段中等教育学校)
	話者 4 全般 大西琢也 (日野市立日野第四中学校)
話者 5 全般 浦崎太郎 (岐阜県立可児高等学校)	
16:45~	閉会あいさつ 久野 靖 (情報処理学会、筑波大学)

## 問い合わせ

久野 靖 (筑波大学ビジネスサイエンス系)

kuno@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp